

科学 Education 教育

東京工業大学大学院で「全寮制」を特色とする原子力人材育成プログラムが一昨年から走り出している。勉学に集中できる環境を整え、原子力安全や核セキュリティーの分野で国際的に活躍するリーダーを育成することが目的だ。修士課程入学半年後の試験で選抜さ

れた院生は皆、寮に入り、博士号を取得して卒業するまでの4年半、みっちり組まれた講義や研修をこなして専門知識と教養を身に付ける。現状を知るため教育拠点の大岡山キャンパス（東京都目黒区）を訪ねた。
(山下 友彦)

原子力安全担う指導者へ

プログラムは「グローバル原子力安全・セキュリティー・エンジニア教育院」と名付けられている。開設は東京電力福島第一原子力発電所の事故が起こった後の2011年末。事故を教訓として世界の原子力の安全性向上活動を牽引し、また年々重要性を増す核テロ対策の分野で優れた指導力を発揮するリーダーを育成する必要があると判断した。開設に当たっては文部科学省の支援も受けた。

○教養も必修

リーダー養成コースの豊富な。電力会社のシミュレーション施設を借りて、重論や法規、原子力安全工学、核燃料サイクル工学など原子力・サイクルの専門科目で放出された放射性物質の拡散状況を予測する実習に加えて、語学、政治経済から芸術文化に至る教養科目も必修。大岡山キャンパス内各施設を計測するフィールドワークなどを行って「原子力現場」と呼ぶ夜間の自主ゼミが定期的に開かれる。「寮生は、博士号を取得して卒業するまでの4年半で50単位以上を専攻する各国の学生と討

東京都・東京工業大学大学院原子核工学専攻

全国理系 学び舎 紀行



院生が参加した国際シンポジウムのもよう（2月）

「全寮制」で精鋭を育成

選抜試験を通り、寮に入って切磋琢磨する「リーダー予備軍」の院生は現在11人。寮生活は、専攻する科目は座学だけでなく、実地での研修も豊富だ。電力会社のシミュレーション施設を借りて、重論や法規、原子力安全工学、核燃料サイクル工学など原子力・サイクルの専門科目で放出された放射性物質の拡散状況を予測する実習に加えて、語学、政治経済から芸術文化に至る教養科目も必修。大岡山キャンパス内各施設を計測するフィールドワークなどを行って「原子力現場」と呼ぶ夜間の自主ゼミが定期的に開かれる。「寮生は、博士号を取得して卒業するまでの4年半で50単位以上を専攻する各国の学生と討

○志を集める

福島第一原子力発電所の事故後も、世界的にみれば原子力発電所の増加傾向は続く中、原子力安全・核セキュリティー分野の人材育成は必要だ。単なる技術者を養成するのではなく、全体を俯瞰（ふかん）できるタフな人間を育てることを目指している。このプログラムは、そのための新しい試み。学生の将来の人生設計を後押しするのが大学教育だ。



齊藤 教授

福島第一原子力発電所の事故後も、世界的にみれば原子力発電所の増加傾向は続く中、原子力安全・核セキュリティー分野の人材育成は必要だ。単なる技術者を養成するのではなく、全体を俯瞰（ふかん）できるタフな人間を育てることを目指している。このプログラムは、そのための新しい試み。学生の将来の人生設計を後押しするのが大学教育だ。



◆大学概要

1881（明治14）年に東京職工学校として設立された。1929（昭和4）年にキャンパスを東京・大岡山に移して東京工業大学となった。大学には、3学部23学科が、大学院には6研究科45専攻が設置されており、約1万人の学生が学んでいる。「世界最高の理工系総合大学」の実現を長期目標として掲げている。



科学を学ぶ 技術を開く